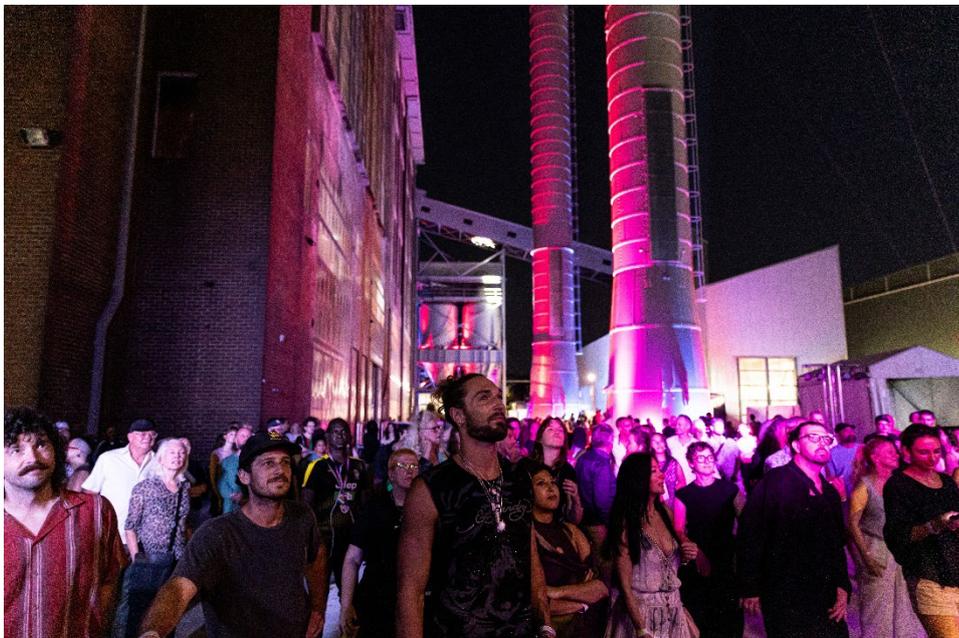


アートマネジメント人材等海外派遣プログラム
2026年度第1回派遣参加者の公募開始！
派遣先はシドニー・ビエンナーレ
募集期間：2026年3月4日（水）～3月31日（火）

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を海外のフェスティバル等に短期間派遣する「アートマネジメント人材等海外派遣プログラム」事業を実施しています。

2026年度第1回派遣では、第25回を迎えるオーストラリア最大の国際現代美術展であるシドニー・ビエンナーレへの派遣を実施します。世界有数の現代美術の祭典の一つである本フェスティバルは、シドニー各地の会場で、世界中から集まったダイナミックな現代アート作品が展示されることを特徴としています。国際展開を志す若手アートマネジメント人材の方々からのご応募をお待ちしています。

また、2026年度は他6地域への派遣参加者の公募を予定しています。



Chimney Stage at 'Lights On' 24th Biennale of Sydney, Ten Thousand Suns at White Bay Power Station, opening night.

Photograph: Katje Ford.

■派遣先：シドニー・ビエンナーレ

- | | |
|----------|--|
| ○主旨・目的 | 第 25 回シドニー・ビエンナーレ（会期 2026 年 3 月 14 日～6 月 14 日）のクロージングに合わせて派遣し、閉幕時に集う参加アーティストや各国のキュレーター、アート関係者とのネットワークづくりの機会とします。 |
| ○滞在中の活動例 | 会期中に開催される、国際フォーラムやネットワーキングイベントへの参加。シドニー市内の文化施設訪問。アーティストのアトリエ訪問など。 |
| ○派遣時期 | 2026 年 6 月 8 日～6 月 15 日（予定）（現地滞在最大 7 泊） |
| ○派遣人員 | 3 名程度 |
| ○派遣対象 | 視覚芸術に関わる若手を中心とするキュレーター、ディレクター、アートプロフェッショナル等 |
| ○募集期間 | 2026 年 3 月 4 日（水）16:00～3 月 31 日（火）14:00 |
| ○応募方法 | 特設サイト（ https://www.act-kaigaihaken.jp ）からご応募ください。 |

※派遣内容は一部変更となる場合がございます

■派遣対象と支援内容

【派遣対象】

以下の条件に全て当てはまることとします。

- ・ 海外での公演や、海外セクターとの交流や共同制作などに興味があり、海外での実務経験がない・あるいは少ないこと
- ・ 芸術分野関連の現場経験が 3 年以上あること
- ・ 本プログラムに参加した成果を海外展開や海外連携など今後の活動に活かす意思があること
- ・ 首都圏在住者で都内での活動を主としていること
- ・ 第二次選考（面接）時点で必要な残存期間のある有効なパスポートを所持していること

【支援内容】

- ・ 日本と派遣先の往復航空賃（エコノミークラス）
- ・ 現地宿泊費
- ・ 日当（現地滞在 1 泊につき 1 万 5 千円）
- ・ 海外旅行保険
- ・ その他、派遣先でのスケジュール・プログラムの調整、現地での関係者の紹介や、アドバイスなどのサポート

■応募方法・募集要項

詳細はアーツカウンシル東京のウェブサイトおよび特設サイトをご覧ください。

https://www.artscouncil-tokyo.jp/support_top/art-management/

<https://www.act-kaigaihaken.jp>

※2026 年度第 1 回派遣については、東京都の令和 8 年度予算が東京都議会で可決され、かつ公益財団法人東京都歴史文化財団の令和 8 年度予算が財団理事会で可決され、同評議員会が承認した上で、実施が確定します。

■シドニー・ビエンナーレについて

biennale of sydney

シドニー・ビエンナーレは、世界有数の現代美術の祭典の一つです。1973年の創設以来、芸術と思想のためのプラットフォームを提供し、130以上の国と地域から2,400人を超えるアーティストの作品を紹介してきました。現在では、オーストラリアおよび世界各地の革新的で示唆に富む作品を委嘱・発表する国際的な現代美術展として広く認められています。

第25回展のテーマは「Rememory（リメモリー）」。リメモリーとは、個人・家族・あるいは集合的な過去の断片を再び組み立て直す行為としての想起を意味します。消去されたり抑圧されたりしてきた歴史を再訪し、再構築し、取り戻すための概念であり、記憶と歴史が交差する地点を象徴しています。

本展は、〈記憶〉と〈忘却〉のあいだにある繊細な空間に光を当て、Rememoryに向き合うことで、アーティストたちは周縁化されてきた物語を浮かび上がらせ、これまで語られてこなかった声を共有し、記憶がいかにアイデンティティや帰属意識、さらには新たなコミュニティやつながりの創出と祝福を形づくるのかを、観客に問いかけます。

■アートマネジメント人材等海外派遣プログラムについて

「東京文化戦略2030」では、東京都が国内外のアートシーンの中心として世界を魅了する創造性を生み出し、東京に集積する芸術文化資源を最大限活用し、国際的なアートハブとしての機能の強化を目指しています。本事業は、2023年より開始され、将来アーティストと社会をつなぐ役割を担う若手アートマネジメント人材を短期で芸術フェスティバル等に派遣し、国際的な活動の第一歩となるよう、海外の芸術文化関係者のネットワークを作る機会を提供しています。また、海外の先駆的な作品や創作現場に直にふれることで、国際的な視点に立った創作の機運醸成を図ります。尚、将来的にはこの事業を通じて東京と各派遣先との連携を深め、東京と海外セクターとのネットワーク構築・強化に繋がります。

過去派遣実績〈派遣先、派遣参加者人数〉

●2025年度：5地域、計15名

エディンバラ・インターナショナル・フェスティバル、サンパウロ・ビエンナーレ/イニョチン、ソウル・パフォーマンス・アーツ・フェスティバル、台北ビエンナーレ、ベルリン国際映画祭

●2024年度：3地域、計10名

ヴェネツィア・ビエンナーレ/ミラノ/ローマ、インドネシア・ダンス・フェスティバル（ジャカルタ）/ドラマリーディング・フェスティバル（ジョグジャカルタ）、CINARS（モントリオール）

●2023年度：3地域、計10名

エディンバラ・インターナショナル・フェスティバル、タイランド・ビエンナーレ（チェンライ）/バンコク、ニューヨーク・ブロードウェイ

アーツカウンシル東京

世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組めます。

<本事業に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援部助成課 支援デザイン担当：石綿、角南
TEL：03-6256-8433 E-mail：haken@artscouncil-tokyo.jp

<本リリース、掲載に関するお問い合わせ>

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 広報担当：長澤、柳生
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp